

7. 近畿（地域別調査機関：（株）大和銀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	競輪場（職員）	来客数の動き	・新しい賭け式、大型連休、グレードの高いレース等の要因により売上が増加している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	単価の動き	・3か月前と比べ、来客数では下回るものの、客単価においては、来客数の落ち込みを上回る上昇率となっている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額品は売れているが、何でも売れるわけではなく、希少価値がある、または資産価値、将来性のある商品を客が今まで以上に選定している。良い商品であれば高額品であっても3か月前よりも良く売れている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・野菜の相場が安値傾向から転換したことや、牛肉の売上回復もあり、販売は堅調に推移している。
		スーパー（広報担当）	来客数の動き	・食料品を中心に、来客数、ならびに販売点数が、前年実績を上回る傾向が続いている。
		衣料品専門店（営業・販売）	販売量の動き	・いわゆるビジネススーツの販売量は少ないが、こだわりのおしゃれスーツの販売量が増加し、単価も上昇している。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型車種の販売が始まり、広告宣伝の効果もあって来客数が増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数が増加傾向にある。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、レストランの来客数、宴会件数、いずれも増加している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・加入申込みが非常に好況で、ケーブルテレビ方式でのブロードバンドサービスに対するユーザーの期待度は、かなり大きい。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・不動産関連の知人より、ペイオフ解禁の影響で4000万～1億円の土地が非常に早く売れてしまうと聞いている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・少しずつではあるが新築、分譲共に契約が増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・客は他の店も見回りながら品定めをしており、商品単価が低い。
		商店街（代表者）	単価の動き	・来客数は増加しているが、単価が下落し、売上が増加しない。低価格志向が続いている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・平均単価が上昇しても来客数は減少しており、全体の販売量は変わらない。
		一般小売店〔食料品〕（経営者）	来客数の動き	・引き続き客の財布のひもは固いものの、不況疲れの感がある。客は価値を感じた物はしっかり購入する。 ・日常必需品で差別化が出来ないものについての価格志向は、ますます強まっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・優待割引を待って購入する客が非常に多く、優待に関する問い合わせの電話も非常に増加している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ファッション関係、特に婦人服では盛夏物が動く時期ながら、客の関心が薄く、購買意欲も低い。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・婦人服は前年を少し上回り、服飾、紳士物等が下回る状況で大きな変化はみられない。
百貨店（営業担当）		単価の動き	・低単価の実用的な品物については購買があるが、高額品についてはまだまだ需要が少ない。	
	スーパー（店長）	単価の動き	・3か月前と比べて、来客数の増加と、客単価の下落が続いており、全体としての売上は前年並を維持している。 ・食品の来客数はわずかであるが増え続けている。食品の単価下落が続くなか、野菜の相場高もあって農産品は単価が微増し、来客数も増加して、売上を支えている。	
	スーパー（経理担当）	お客様の様子	・客の様子からは、依然買物の点数が少なく、必要な物を必要なだけ買い、特売品や低価格商品に購買が偏る傾向がみられる。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価は下落傾向が続いていたが、やや下げ止まりの感がある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・家電商品に限っては、故障しない限り買い替えないという傾向がある。新規で付加価値の高い商品は動いているが、本当に必要と認められない限り買われない。
		家電量販店（経理担当）	販売量の動き	・既存店ベースでの前年比販売量が、3か月前とほぼ同じである。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・限られた所得の中から必要な物だけを購入するといった目的買いが顕著になっており、全般的な売上の底上げにはならない。売れる物と売れない物がはっきりしている。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・来客数の減少にはずいぶん慣らされているが、客のタイプが公務員、外資系の薬品会社の社員、個人的に資産を持つ客等に限られている。
		その他飲食 [コーヒーショップ]（店長）	来客数の動き	・神戸、大阪方面の店舗の来客数に、ワールドカップによる顕著な影響は出ていない。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・食事利用やみやげ品購入等の客単価は、ほぼ横ばいである。
		旅行代理店（店長）	販売量の動き	・北海道、東京ディズニーランドは大きく伸びているが、その他の方面が弱く、国内旅行の受注量は前年に比べて伸び悩み、来客数も減少している。 ・海外は特にハネムーンの落込みが影響し、前年比10%以上落込んでいる。
		タクシー運転手	競争相手の様子	・客を待つ病院、ホテル、駅では、依然タクシーが長い列を作っている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・メーカーの開発項目は、今後も案件として出てくるが、?格段増加傾向にはない。
		競輪場（職員）	それ以外	・今月開催のビッグレースが近年にない最悪の状況である。来客数は減少し、購買単価も低下している。全国の動きも同様であるが、とくに当レースに関して関心が薄く、今後もこの状況は変わらない。
		その他レジャー施設（企画担当）	単価の動き	・来客数の動きは前年並みで、特に悪化はしていないが、消費単価に上昇の兆しは感じられない。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・当商店街では大手スーパー、ファーストフード店、量販低価格チェーン店等、生鮮を扱う店舗が撤退している。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・高額の宝飾、時計などは少し動きがあるが、これまで百貨店の消費を引っ張ってきた30代女性の来客数及び売上が減少している。特に大阪圏は百貨店間の改装が相次ぎ、投資に見合ったリターンが取りにくい状況になって、次のステップへの足かせになっている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・買上率はなんとか下げ止まっているが、来客数の減少に加え、客単価の下落が見受けられ、大変厳しい状態が続いている。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・外商部員が様々な商品を売り込んでいるが、受注に結びつく物が少なくなっている。受注に結びついて、特に宝石、絵画については単価が低下している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・衝動買いする客が少なく、必需品のみを買う傾向にある。特に進物品の単価が下落傾向にある。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・チラシ広告の競争が一段と激しくなり、客はその日によって買う店を変え、固定客の取り込みが難しい。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・連休において、前年より来客数が減少している。
		衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・一番の顧客層であるサラリーマン層が、全く元気がない状態である。 ・高額商品購入客は変わらないが、サラリーマン層が激減し、売上に反映してきている。
		一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・来客数は前年比90%と回復基調にあるが、客単価が極端に下落しており、客も低客単価店舗に流れている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・商品企画や単価の見直しを行っているが、来客数は減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・出張の宿泊の動きが非常に悪い。単価を下げてても来客数が増加しない。 ・昨年活発化していたユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの観光客も、団体を中心に大幅に減少している。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・夏の旅行の出足は遅く、特に海外旅行は前年比80%台の受注状態である。 ・高額商品は順調に販売しており、給与所得者層の動きが弱い傾向にある。
		タクシー会社(経営者)	来客数の動き	・昼、夜ともに来客数が減少している。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・客の話では、人員が減少しても新しい人員が補充されない傾向にある。 ・客の美容院利用が、半年スパンに変わってきている。
	悪く なっている	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・既存店の1日当たり平均販売額が前年実績を割り込むようになってきている。
		衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・客の財布のひもも固く、単価も下落し、最悪の状態である。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・来客数が少ない。
		一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・グレードの高い店は宴会は入るが、一般客が減少している。宴会等会社では出費するが、個人では控えるという傾向にある。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・販売件数が減少している上、旅行単価が低下傾向にある。
		都市型ホテル(副総支配人)	販売量の動き	・宿泊は急速に悪化しており、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン団体グループはユニバーサルシティ駅周辺のホテルの影響もあり、観光、ビジネスともに低調である。 ・宴会は一般、婚礼ともに件数が減少している。 ・レストランは周辺レストランの影響と宿泊客の減少により、朝食は3割、昼は3%、夜は数%程度利用が減少している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の客、長距離が減少し、全体の来客数も減少している。規制緩和で様々な料金体系が出てきて一層厳しくなっている。
		美容室(経営者)	単価の動き	・来客数よりもパーマ数が減少し、ヘアダイは家でする客が増加しており、単価が下落している。 ・当店では開店以来、最低の売上になっている。
		その他住宅[展示場](従業員)	お客様の様子	・客の予算が明らかに減少している。少ない予算でいかに良いものを建てるかということで、打ち合わせの時間が長くなり、客単価が低下するため、住宅メーカーも厳しい状況である。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・実際の注文にはまだ結びついていないが、生産設備としての引き合いが増加している。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注残が増加している。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・環境関連事業を展開しているが、土壌汚染対策法が成立したこともあり、受注、問い合わせともに増加している。
		不動産業(営業担当)	取引先の様子	・依然、商業地の売買は低調であるが、値段が交渉できるものについては売れている。
		広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・新しくキャンペーンやイベントを行おうとする企業が若干増加している。
	その他サービス業[イベント企画](経営者)	取引先の様子	・新規案件も含め、物件の発生件数が増加している。	
変わらない		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量の小口化がますます進んでいる。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売上が増加しない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
雇用 関連		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注状況が依然芳しくない上に、受注価格の引き下 げが行われている。競争相手も同じような状態が続い ている。	
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・研究開発への投資は前向きであるが、その投資の内 容は繊細でダイナミック性に欠けている。	
		その他製造業 〔ゴム製プラス チック製履物〕 （団体役員）	受注量や販売量 の動き	・受注量、販売量等が変わらない。	
		建設業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・販売価格がかなり安いにも関わらず、契約率が低い。	
		輸送業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・客の話では、仕事量の減少により受注価格が下落 し、依然下げ止まっていないため苦しい状態が続いて いる。	
		司法書士	それ以外	・現状維持的な内容の仕事が多く、新しい事業や拡大 する内容の仕事が少ない。	
	やや悪く なっている	食料品製造業 （従業員）	取引先の様子	・販売量は回復基調にあったが、今月に入り、食品関 係の様々な事故の影響もあって少し減少している。	
		繊維工業（団体 職員）	受注量や販売量 の動き	・月を追うごとに受注量が減少し、また、単価も低下 している。 ・輸入品の増加、法人需要の極端な低迷、取引先の倒 産などの影響を複合的に受けている。	
		輸送業（営業所 長）	受注量や販売量 の動き	・輸入貨物の配送件数が減少しており、空車になると きもある。	
		金融業（支店 長）	受注価格や販売 価格の動き	・単価が低く、利幅が小さい。大口受注が減少してい る。中国などへの海外移転が増加し、国内受注が減少 している。	
	悪く なっている	金融業（支店 長）	取引先の様子	・借入金の返済条件の緩和等の申入れが増加してい る。	
		繊維工業（経営 者）	取引先の様子	・支払時点での値引を強要されるようになってきている。 支払は請求額の4～5割程度しかないうえに無理を 言ってくる。	
	雇用 関連	良く なっている	-	-	-
		やや良く なっている	人材派遣会社 （社員）	採用者数の動き	・人材派遣の需要が上向きになっている。今月は特に 製造業が、顕著な動きを示している。
			求人情報誌製作 会社（営業担 当）	求人数の動き	・アルバイトの求人数が若干増加し、求人に明るい兆 しが見えてきている。ファーストフード、食料品製 造、配達、引越しが回復傾向にある。
職業安定所（職 員）			求人数の動き	・求人の動きは、サービス業の分野で、前月比13%増 加している。	
民間職業紹介機 関（支社長）			周辺企業の様子	・求人企業が、大企業から中小企業に移行している。	
変わらない		人材派遣会社 （経営者）	周辺企業の様子	・家電、IT関連の一部以外に動きはない。	
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・派遣契約の更新打ち切りがあるものの、一部業種で 新規に派遣社員の活用をする企業が出ている。 ・リストラの結果、人員不足になる企業もあり、ス ポット的に派遣社員の活用もある。	
		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求人数は昨年を上回っているが、スキルが高く、若 年層の人材を求められるため、雇用のミスマッチが発 生し、結果として採用数が伸び悩んでいる。	
		民間職業紹介機 関（職員）	求人数の動き	・求人数が前年比でようやく下げ止まっているが、良 くなっているといえるほどではない。	
		学校〔大学〕 （就職担当）	雇用形態の様子	・雇用形態の多様化が進み、契約社員や、準社員と いった求人は増加しているが、正社員の求人は増加し ていない。	
やや悪く なっている		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・新規求職者数が大幅に増加している。	
悪く なっている		職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・管内企業が業績不振により従業員のリストラを実施 しており、また、他の数社にリストラの計画がある。 ・事業廃止が多数ある。	